

様式第3号(第7条関係)

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 平成29年度第2回水戸市協働推進委員会
- 2 開催日時 平成30年2月28日(水) 午後1時30分から午後4時15分まで
- 3 開催場所 水戸市国際交流センター 多目的ホール, 研修室1
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員 金本 節子, 大野 覚, 石川 浩之, 斎藤 寿子, 羽石 英司
 - (2) 執行機関 【市民生活課】課長事務取扱 横須賀 好洋
副参事兼課長補佐 海老澤 守
市民活動・消費生活係長 鬼沢 隆文
協働係長 橋崎 真哉, 主事 宮窪 千恵
【文化交流課】主幹 安見 知浩
【農政課】企画係長 長谷川 修
【観光課】事業係長 佐藤 健太
 - (3) その他 国田歴史学習会
グローバルキグループと支える会
一般社団法人 茨城県健康生きがいつくり協議会
特定非営利活動法人 エコ・グリーンいばらき
株式会社 日宣メディックス
- 5 議題及び公開・非公開の別 協働事業提案制度「わくわくプロジェクト」に係る平成30年度
提案事業の公開プレゼンテーション(公開)
全体審議(非公開)
- 6 非公開の理由 (全体審議)
 - ① 公にすることにより, 当該団体の権利, 競争上の地位その他
正当な利益を害するおそれがあるため。
 - ② 公にすることにより, 率直な意見の交換若しくは意思決定の
中立性が不当に損なわれるおそれ又は不当に市民の間に混乱
を生じさせるおそれがあるため。
- 7 傍聴人の数(公開した場合に限る。) 4人

8 会議資料の名称 平成30年度提案事業の概要

9 発言の内容

【公開プレゼンテーション】

事務局	(開会の挨拶, 進行についての説明)
委員長	ただ今から, 平成30年度水戸市協働事業提案制度「わくわくプロジェクト」の公開プレゼンテーションを始める。提案のあった5事業について, 提案団体と市担当課から, 事業の概要, 協働による効果, 役割などについて発表していただく。
提案団体 市民生活課	〔発表: 国田地区の史跡探訪を通した魅力再発見プロジェクト〕
委員	ウォーキングイベントについて, 日時, 参加人数などを教えていただきたい。また, 安川城跡についてお伺いしたい。
提案団体	田園がきれいな時期ということで6月末から7月初めごろの日曜日を考えている。参加者については, 三の丸地区と連携しているので, そちらにも呼びかけを行う。市報にも掲載し本取組を広くPRしていきたい。 安川城跡は, 現在堀が残っている。そこに案内板を立て, 歴代の城主などをお知らせしていきたいと考えている。パワーポイント資料では地図中②である。茨城大学の先生にも調査を依頼したいと思っているが, 市教育委員会からの依頼がないとできないとのことである。
委員	目的のところにコミュニティの復活を目指すとも書いてあるが, 軸足は案内板設置の方にあるのか。
提案団体	国田の歴史は, 源頼朝の5代前から盛んであった。自分たちの住んでいる地域は, そういう歴史を持つところなのだという自信を持ち, コミュニティづくりに寄与したいと考えている。
委員	収支計画書を見ると, 案内板設置に大部分が充てられている。市内でも史跡後に案内板が設置されているところがあるが, 中には案内板だけあって, その場所は荒れ果てているという状況も見受けられるが, 国田地区ではどのような状況か。
提案団体	国田地区は, 上国井, 下国井, 田谷の3地区に分かれるが, 3地区の協働作業で草刈りなど整備を進めていく予定である。
委員	国田地区には, 小中一貫校があると思うが, 子どもたちは, この事業にどうかかわる可能性があるのか。あるいは, 次世代にどうつないでいくのかなど, 展望をお伺いしたい。

提案団体	郷土史についての学校の取組は、教科書に出てくる外側の部分になってしまい、あまり熱心ではない。市では、弘道館が教育遺産になり、いろいろな事業が始まったが、同じようなことを国田地区でもやりたいと考えている。源頼朝の5代前の方が初代安川城の当主なのだとこのことを知ってもらい、歴史で勉強している源頼朝などにつなげてほしいと思っている。
提案団体 文化交流課	〔発表：スマイル アース プロジェクト〕
委員	2点伺いたい。1点目は、バスツアーについて、ニーズとしてはどのようなものがあるのか。2点目は、印刷製本費に10万円計上されている。事業内容では言及されていないが、事業との関連性はあるのか。
提案団体	バスツアーのニーズについては、実際にニーズ調査をしてこの事業を計画しているのではないが、今年度「ガイドペーパー」を作成しており、そこに記載された公園や病院、観光施設などを、より多くの外国人に知ってもらおうという考えで計画した。広報紙については、今年度は8ページを予定している。今回は、子育てというテーマで取り組んでおり、そのテーマに沿った内容のものにする予定である。来年度については、引き続き、子育てをテーマに、バスツアーやふれあいの場づくりに取り組んだ中で外国人の苦労話など、現状を広報できるものにしていきたいと考えている。
委員	「ままナビ」は、実際のところ外国人の方に役に立つものなのか。
提案団体	「ままナビ」は100ページ程度あり、外国人にはなかなか読みこなせない。当初、30ページ程度に凝縮したものを考えたが、検討していく中で、最も基本的な情報ということで、この「ガイドペーパー」が出来上がった。今後は、対象の外国人の日本への滞在期間が長くなったり、子どもが成長したりする中で、幼児対象の「ままナビ」にとらわれずに、更なる情報が必要になると考えている。
委員	何か国語で作成するのか。
提案団体	今回は、日本語と英語で作成する。今後は、アンケートで回答の多かったフィリピンや韓国語などを検討していきたい。
委員	外国人から見て水戸をPRするとしたらどんなところか。
提案団体	水戸には歴史があり、偕楽園などを紹介したい。
提案団体 農政課	〔発表：水戸オーガニ蕎麦プロジェクト&野菜作り〕
委員	平成29年度の実績でどのくらいの参加者があったのか。また、4年目以降の計画を伺いたい。
提案団体	収穫祭では、91名の参加があった。都心からは当財団を通じ4名の参加

	があった。今後の活動については、引き続き、定年退職者を巻き込み、健康と生きがいを目的に、継続して取り組んでいきたいと考えている。
委員	都市部ばかりでなく、地域とのつながりを重視する姿勢に進展を感じている。耕作放棄地が増えていく中で、ひとつのモデル事業となしてほしい。
農政課	農業従事者の減少や耕作放棄地の増加などがある中で、農業への理解と関心を持ってもらうための事業として、市としても有効に感じている。4年目以降についても、ふるさと農場で実施している子ども向けの収穫体験などのノウハウを本事業に生かすなどし、事業展開を図っていききたいと考えている。
委員	子どもたちとの農業体験とあったが、子どもたち、あるいはご家族にとってその先にあるものは何なのか。情操教育や環境教育など、そういった面を、募集チラシに反映していくと、より多くの人を巻き込めると思うがいかがか。
提案団体	大人ばかりでなく、子どもたちを取り込んでいくというのは、当初の計画から入っており意識していきたい。幼稚園や保育所などつながりが出来たらと考えている。
提案団体 農政課	〔発表：水戸の緑と野鳥の森整備事業〕
委員	環境整備を通じ、コミュニティが形成されるのは素晴らしいことと思う。整備したところは、散歩する人がいるのかなど、現在どのように生かされているのか。
提案団体	散歩などで来る方は、土曜日、日曜日に集中している。木戸房池では、ブルーギルが釣れるので、釣りをしている人がいる。子どもたちは、藤づるで遊ぶ姿が見られる。親には、危ないからと止めないで、子どもたちの思い出を作してほしいと言っている。
委員	現地を歩いたが、チップ材が敷かれた道が心地よく皆さんの苦労が感じられた。13団体による協働体が出来ているということだが、連携についての今後の見通しを伺いたい。
提案団体	活動を通じ、協働という、互いに思いやること、連携、といった意識が生まれてきている。そういったことを大事にしていきたい。そうした中で、次の世代の子どもたちへの教育面を重点的に行っている。小中学生が森に入り、森を好きになってもらうということが重要と考えている。
委員	現地の状況をお伺いしたい。現地では鳥がよくみられるのか、あるいは、希少な鳥がいたりするのか。また、バードウォールはどのように活用するのか。
提案団体	鳥を集めるには、木を伐採し、ゆったりした環境をつくならいといけない。また、杉の木には寄ってこないの、実のなる落葉樹を植えている。そういったものが実り、初めて鳥が寄ってくる。最終的には、学校や各家庭で巣箱が設置され、日常的に鳥の声が聴こえる状況をつくっていった

委員	い。
提案団体	学校との関係はいかがか。
提案団体 観光課	先生によって変わることがある。現在は、巣箱の設置などいろいろ相談にのっていただいている。PTAについては、毎年役員の方が替わる中、最初から説明し御理解をいただいている。自然のよさ、それが子どもにとってどのようにいい影響を与えるかなどをお話ししている。
委員	【発表：谷中二十三夜尊骨董市賑わい創出事業】
提案団体	骨董市だけの来場者数が限られる中で、保和苑の持つ歴史性や周辺商店街などの関係人口を増やすといいのではと感じた。フェイスブックにも力を入れているようだが、宣伝費用をお聴きしたい。
委員	ご指摘いただいた歴史というのは、有効なコンテンツだと認識している。歴史アドバイザーやワークショップなどを充実させていきたい。SNSの広告費については、1回につき3万円である。来場者に対しての魅力のPR、店舗の募集、当日の様子のPR、の3点に分けている。1点あたり、1万2千人が見たという結果が出ている。
提案団体	4年目以降は、本事業をどのように継続していくのか。また、商店街との連携とあったが、実際どのくらい流れているのか。
委員	商店街からの戻りについては、2月に取り組んだばかりなので、アンケートはまだ実施しない。
委員	4年目以降については、このイベントの出店料で動かしていくというのは難しいものである。ワークショップなどを充実するなど、出店者、来場者を増やし、そこに企業広告や企業協賛を得て、収益をあげていくしかないと考えている。
提案団体	委員長
委員	去年は雨による中止があったと思うが、実績を伺いたい。雨で中止になると、お盆などがあり、次までの開催期間が空いてしまうが、その点はどうか考えているか。
提案団体	当初5回の予定に対し、2回が雨のため中止になった。具体的には、4月、5月である。集客は、10月は100名、12月は100名、2月は150名である。雨に関しては、順延などについても出店者と話し合っているが、出店者は毎週毎週、各市を回っており、順延は難しい状況にある。
委員	委員長
提案団体	今年、あじさい祭りの時期も開催を検討中とのことで、骨董市を知っていただくといい機会だと思うので、是非、検討を進めていただきたい。